

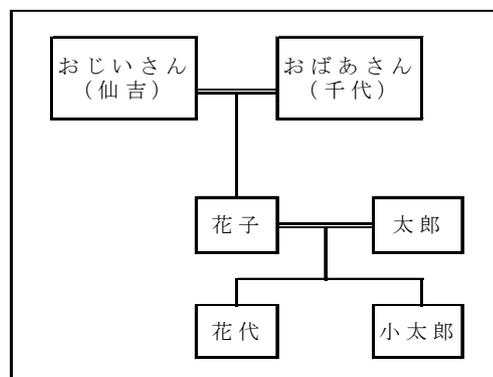
会話de提言シリーズ 男女共同24時

Vol. 1 ~ Vol. 3

男女共同 24 時！

○人物設定(大河内家)

太 郎：小太郎の父。市役所勤務
花 子：小太郎の母。民間会社勤務
仙 吉：花子の父
千 代：花子の母
小太郎：4 才・幼稚園児
花 代：0 才(4/3 生まれたて)



時刻 pm11:00 自宅にて、夫太郎が帰宅

花子：あなたっ！いつも真夜中に帰ってきて！

太郎：仕事なんだよっ！

花子：いつも仕事仕事って！

太郎：今も昔も男は外で働きアリなんだよ。

花子：本当？じゃあ、縄文時代の家族って男と女ってどんな役割だったんでしょうね？

太郎：男は狩りへ、女は家を守っていたんじゃないの？

花子：じゃあ、昔から男社会だったんだ。

太郎：役割分担だと思うよ。

花子：おじいさんは、山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に、も？

太郎：そう。体力のあるおじいさんは山登りし、手先の器用なおばあさんは川へ洗濯に。

花子：体力のあるなしで世帯主になっているんじゃない？

太郎：体の造りの違いは、大きな違いだよ。男と女は、体の違い、つまり体力の違いもまた男女の性別に由来するもので、しょうがないんじゃない？

花子：女と男って一般論で言えるの？相対的なものなんじゃないの？高橋尚子さんとあなただったら、マラソンは男のあなたが速いの？

太郎：体の機能的な違いが、男女にはあるってことを言いたいのだよ。

花子：男女ではなく、「その人」でいいんじゃない？その人の個性を尊重するってことじゃないの？

太郎：男女の違いを無視するのかい？

花子：そうではなく、個性の中に含めるの。

太郎：なるほど。男女の違いを前提にした個性ってことか。

花子：あなたの考えは、少し聖書の世界みたいね。

太郎：どうして？

花子：アダムとイブ（エバ）って、いるじゃない。イブ（エバ）は、アダムのあばら骨から作られたし、善悪の木の実を最初に食べたのもイブ（エバ）。聖書の中では、男は権威をもち、女は男に従属する。でも、男には奉仕の責任があり、一切の専制を排除するの。

太郎：宗教の世界は、表にはいえないね。

花子：そう。とてもナーバスなの。

太郎：でも、宗教の世界は抜きにしても、男女の違いも含めて個性を尊重することが大切だと思う。

花子：あ、おかえり。お母さん。

おばあさん：ただいま帰りましたよ。今日はすばらしいコーラスができましたよ。

太郎：お義母さんは、歌が恋人ですね。

おじいさん：お帰り。早かったね。

おばあさん：あ、おとうさん。先に帰ってたの？

おじいさん：今日は、せんべい汁を作ったよ。

太郎：お義父さんのせんべい汁は、鮭缶入りっていうのが特別ですね。

花子：やっぱり、女だけでも、男だけでもだめね。お互いに協力しあうことが本筋ね。

おばあさん：そうよ。支え合うのよ。お互いに夫婦だって敬意をみせることが大事ね。あなたは、学校出たての頃は、女の自立！キャリアウーマンでいく！っていったけど、会社だって、社員が支え合うことが繁栄の基よね。

おじいさん：かあさんは、ずっと専業主婦だったけど、家庭業の専門職だね。かあさんは自立していたよ。

おばあさん：そうよ。でも、自立には共生が必要なの。ところで、どうしたの？女だの、男だの？

花子：亭主の帰りが遅いのよ！何とか言ってよ！

おばあさん：役所も人手不足で、大変なんだから、気持ちを支えないと。

花子：だって、私も働いているのよ！

時刻 am7:30 朝。

花子：小学校の参観日、行ってちょうだいね。

太郎：わかってるよ。午後2時からだったね。

花子：私も行くから。

時刻 am8:30 職場（役所にて）

上司：みなさん、既に男女共同参画という言葉を目にしたことがあるかと思いますが、その意味は、男は仕事、女は家庭という旧来の価値観を見直していくという目的から、家庭や職場で男女問わず協力していきましょうということです。出産後の育児休業

は、男性も取得できることになってきたように、育児や家事と一緒に、あるいは分担していきましょうというものです。我が職場内でも、お茶入れやごみ捨てなど、ハードな面は大分改善されてきたとは思いますが。そしてこれからは、ソフト面の充実を図っていく必要もあるということをお願いしたい。

そこで、お知らせしたいことは、普段、子どもさんが通っている学校の行事、参観日や面談、中には進路に関する重要な相談をしなければならない場合があるかと思えます。また、PTAや居住地域での活動に参加する場合、平日ならば仕事を休まなければなりません。この場合、特別な休暇の制度がないので、有給休暇を当てていると思えます。これからは、特に男性職員、休暇届の理由の欄には、参観日なら参観日出席のためと書いて、私は男女共同参画の推進派ですと、堂々と胸を張って行ってきてください。まだ、休暇を取得する本人も周りもしばらくは慣れないでしょうが、一人一人がこのことを理解していけば時間とともに次第に馴染んでいくものと思えます。このように、男女共同参画というものに関して全庁あげて取り組んでいくことになりました。以上、みなさんよろしくお願ひします。

女性職員：早速ですが、今日は小学校で参観日ですので、午後から休みます。(休暇届に「参観日出席」と書く)

太郎：私も参観日に行ってきます。妻も休みが取れたので一緒に行ってきます。(休暇届に参観日出席と書く)

上司：はい、わかりました。仕事をやりくりして、どんどん学校へ出かけてください。それが、家庭のためでもあるし、実は仕事のためにもなりますよ。

時刻 am11:00 自宅にいるおばあさん(千代)から、勤務先の花子への電話

花子：あら、お母さん。どうしたの？何かあった？

おばあさん：実は具合が悪くてねえ。今病院に行ってきたのだけれど、安静にしているように言われてねえ。横になっていれば大したことはないんだけど。それでちょっと小太郎の迎えに行けそうにないのよ。お前、これから仕事休めないかねえ。

花子：うーん、今日はこれから大事な会議があるから休めないのよ。困ったわねえ。ちょっと太郎さんが休めないか聞いてみるわ。

おばあさん：そうしてもらえるかしら。

時刻 am11:10 勤務先の花子から、夫の太郎への電話

太郎：おう、どうした？

花子：さっきお母さんから電話があったんだけど、具合が悪いらしいのよ。そんなにひどくはないみたいなんだけど、小太郎の面倒は見れそうにないみたいなの。私、今日

はどうしても仕事を休めないから、あなたが、これから休みをとることができないかしらと思って。

太郎：うーん、困ったなあ。どうしようかな。あ、そうだ。確か、市役所の中の託児所が短時間でも預かってくれると思ったなあ。ちょっと確認してみるよ。

時刻 am11:12 太郎と市役所内託児施設職員(嘱託)との会話

太郎：実は今日、うちの義母が体調を崩しまして、息子の面倒を見る者が誰もいないのです。急なのですが、私の仕事が終わるまで預かってもらうことはできませんか？

嘱託：あら、大変ね。でも大丈夫ですよ。是非連れてきてください。

太郎：そうですか！助かります。ところで、何時まで預けることができますか？多分、私の仕事が終わるのは6時頃になるとは思いますけど・・・。

嘱託：夜8時までやっていますので、どうぞ安心して仕事をしてください。

太郎：いやあ、よかった。ではこれから連れてきますのでよろしくお願いします。

嘱託：はい、お待ちしております。

時刻 am11:15 太郎から花子への電話

花子：どうだった？

太郎：うん、預かってくれるって。よかったよ、市役所の中だから近いし、いつでも子どもの顔が見られるしね。今から1時間の時間休をとって、小太郎を迎えに行くよ。

花子：ありがとう。本当助かるわ。これなら安心して仕事ができるわね。お母さんにも安心して休んでいるように伝えておくわ。それから、花代の参観日も忘れないでね！

太郎：うん、大丈夫！君もくるんだよね？

花子：ちょっと遅れるけど行くわ。すぐに戻らないといけないけどね。

太郎：わかった。小太郎は、まかせて！

時刻 pm4:00 太郎が参観日から帰ってくる。太郎の職場

庁内放送：今日は、月に一度の「ふれあいの日」です。今日は、家庭に帰る特別な日ですので、皆さん、業務は6時までに終えていただいて、退庁して下さるようお願いいたします。

太郎：そうか、今日は「ふれあいの日」か。学校行ったり、小太郎連れてきたりと、忙しかったな。

同僚：今日は、息子の中学校の部活動でも見てくるか！

太郎：いいねえ。コーチでもやったら？

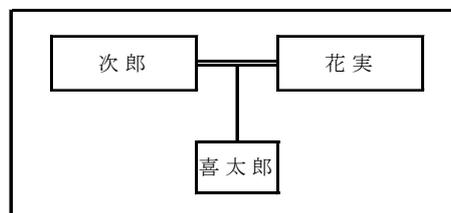
男女共同 24 時！

○人物設定(風祭家)

次 郎：喜太郎の父。市役所勤務

花 実：喜太郎の母。市役所勤務

喜太郎：1 才



時刻 pm7:30 自宅にて

花実：子どもも1歳になったし、そろそろ職場に復帰したいんだけど… どうかかなぁ？

次郎：まだ、早いんじゃないかなぁ。あと1年ぐらい延長しても大丈夫じゃないの？市役所は育児休業が子どもが3歳になるまで取れるんだし…

花実：うーん。取れることは取れるけど、復帰しないと金銭的にも結構つらいでしょ？

次郎：それはそうだけど、育児休業手当金は子供が1歳6ヶ月になるまでもらえるし、共済掛金も最長で子どもが3歳に達するまで免除でしょ？

花実：でも給料に比べたら、全然金額が少ないし… それになるべく早く復帰しないと仕事も忘れちゃうでしょ？

次郎：うーん、確かにそうだね。こういった場合のサポートって庁内だとあまりないよね。他の自治体や民間企業だとどうしてるのかなぁ？

花実：そう言えば、ウィウィ (wiwiw) っていうシステムを導入する会社が増えてきたって読んだことがあるよ。

次郎：wiwiwって確か職場と自宅とを回線をつないで、職場の状況やその人が休む前と今とで、どのように変わったかを連絡してくれるシステムのことだったっけ？

花実：そうそう。ああいうシステムを市役所でも導入すれば、女性はもちろんだけど今まで育児休業を取得した人がいない男性職員も取りやすくなるんじゃないかなぁ。

次郎：そうだね。そういう部分は市役所も積極的に導入していかなくちゃいけない部分だね。

花実：そう言えば、某市で男性職員の育児休暇取得を6週間義務付ようとしているところがあるよ。育児休暇が終わったら「育児研修日記」という体験記を提出させるって話。

次郎：へえー。凄いね。ただ、義務付けまでいくとちょっとね…。

花実：どうして？

次郎：そういう制度って義務っていうより、夫婦や家族と相談して自発的に取得すべきじゃないかなぁ？

花実：必要だと感じる人がね。ただ必要だと感じるためには、やっぱりある程度の体験とか経験が必要だよな。

次郎：そうだね。庁内でも「1日体験育児（あるいは1週間）」みたいなのを導入して、実際に男性職員に育児を体験してもらい、育児休暇の必要性を感じたら、育児休暇を取得すれば良いんだよ。

花実：それいいね。でも実際に取得した人って1年とかは普通に取るでしょ。その期間は給料もらえないでしょ。やっぱりきついよね。

次郎：そんなことはないよ。育児休暇は①育児休業と②部分休業の二つに分かれてるんだよ。一般的に皆がイメージしている育児休業っていうのは、①の育児休業のほうなんだよ。部分休業っていうのは、「1日を通じて2時間まで取れる」休暇なんだよ。

花実：へー。全然知らなかった。もうちょっと関係課に広報活動してもらいたいよね。

次郎：そうだね。まあ、いろいろ言ったけど育児は夫だけ、あるいは妻だけのようなどちらかだけで出来ることではないので、お互い協力・尊重し合ってやっていかないといけないんだね。

花実：東京の企業では、在宅業務っていうのを取り入れているみたいよ。

次郎：東京の場合は、通勤時間が1時間、2時間当たり前って世界だよ。この時間を業務に活用しようってところから始まったみたいだよ。

花実：そうなんだ。育児休暇でなくて、在宅勤務みたいなものってできないのかしら？

次郎：そういうのを「テレワーク」っていうんだよ。wiwiwって、育児休業中をブランクから、ブラッシュアップへという趣旨だから、テレワークだって、経験や知見を育児で在宅の時もメールでつなげて勤務形態をとれば、結構いい取り組みになると思うよ。

花実：そうすると、無給の育児休暇ではなく、勤務ということで、有給になるのね。

次郎：全額ではないけど、いくらか出してもいいよね。

男女共同 24 時！

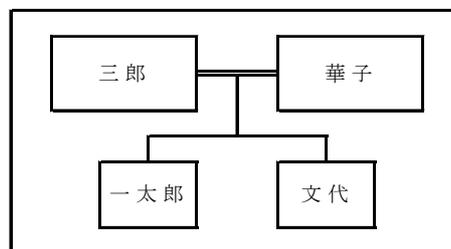
○人物設定(風祭家)

三 郎：一太郎の父。市役所勤務

華 子：一太郎の母。専業主婦

一太郎：5才。幼稚園

文 代：1歳。



時刻 am10:30 病院の華子から、勤務中の三郎へ電話

華子：いま病院なんだけど、一太郎の喘息、やっぱり入院ですって。

三郎：分かった。とりあえず、いまから荷物を持って病院に行くから。

時刻 am11:00 病院で

看護師：一太郎君が入院している間、どなたかが付き添ってください。

三郎：小さい子どもがいるのですが、付き添いと一緒にいても良いですか？

看護師：病室にいると感染の危険性があるので、健康な12歳未満の子どもは病室に入れ
ません。

三郎：どちらかが一太郎に付き添わないといけないし、どちらかが文代を見ないといけな
いし。やっぱり仕事を休むしかないな。

華子：でも、最低一週間、病状によってはもっとかかるかも、ですって。

三郎：上司に相談してみるか。

(上司に電話)

三郎：・・・ということではしばらく休みたいのですが。

上司：それは大変だ。休んでも構わないよ。みんなでバックアップするから。「看護休暇」
を使ってみたら？

三郎：えっ？そんなものがあるんですか？

上司：ちゃんと人事課から周知の文書も来てるし、info8にも載っているじゃないか。

三郎：すみません。ちゃんと見ていなかったもので。

上司：ただし、年5日だから5日で退院できなければそれ以上は有給休暇を使うしかない
なあ。

三郎：分かりました。

(結局、12日間入院し、5日を超える分は有給休暇で対応し、夫と妻で交代で付き添
いをしました)

3ヶ月後（夏休み期間）

華子：今度は文代が入院ですって。

三郎：ということは、またどちらかがどちらかを見ないといけないな。一太郎は幼稚園に通ってるけど、いまは夏休みだから、幼稚園でも一日中は見てくれないよなあ。

華子：確か4時くらいまでよ。

三郎：一太郎のときで看護休暇は使ってしまったからなあ。一日じゃなくても、朝と夕方一時間づつ休めればいいんだけどなあ。有給で休むかあ。

さらに3ヵ月後

華子：一太郎がまた入院ですって。

三郎：小学生になったし、スイミングも始めたから、体力的にもう入院しなくてもよくなったかとも思ってたけど、ダメだったか。

華子：文代を保育園に通わせておけば良かったわねえ。

三郎：一太郎が小学生になってしまったから看護休暇は使えないしなあ。結局、有給を使うしかないか。